

阿部 圭司 教授

【あべ けいじ】

新潟市生まれ、特に考えもせずに地元の国立大に進学。バブル景気で日本中が浮かれている中、何かの間違いで東京の大学院に進む。卒業後、運よく本学でお世話になることに。新潟→東京→群馬と高崎～上越線沿線が生息域。専門は証券市場分析、企業財務、コンピュータ・リテラシ。



- 企業財務論I・II
- デリバティブ論

研究テーマ

(1)新規公開株の価格形成：取引所への株式の新規公開（IPO）時、公開直後の初期収益率が極めて高くなるという現象、また、新規公開株を長期で観察すると低パフォーマンスとなる現象が観察されています。これらの要因分析と投資戦略への応用が研究テーマです。

(2)利益予測情報と株価：経営者や証券アナリストによる企業業績（利益）の予測は市場参加者にとって重要な情報源の1つです。彼らの出す情報の精度と予測改訂行動、また予測情報と株価の反応を検証すること、その利用が研究テーマです。

(3)企業価値評価：会計数値に基づいて求められる企業価値の算出方法に関心があります。求められた価値は株式・債券投資、信用リスク評価・貸出審査、M&A・リストラクチャリング時の買収・売却価格の基礎など、多くの実務上の用途を有しています。この精度を向上させる手法の構築が研究テーマです。

ゼミのテーマ

ゼミで学ぶ内容はコーポレート・ファイナンス（企業財務）と呼ばれる分野です。資本調達と投資プロジェクトの評価、利益配分、資金管理、企業評価等、企業の財務活動（資金の流れ）に関わる分野で、経営学、会計学、金融・証券、法学等、様々な分野にまたがる企業活動にとって重要な分野です。学んだ知識は、金融関係では十二分に生かせると思いますが、すべての業種において、財務担当、米国流に言えばCFO（Chief Financial Officer）などの要職に就く人材には必須といえる領域となります。

2年次では、会計学と経営分析の基礎を学びます。同時にコンピュータを利用したレポート・論文作成、プレゼンテーション手法の習得を目指します。

次に3年次では、企業価値評価に関するテキストを輪読します。企業の経営戦略、会計情報を元に企業価値を評価する複数の手法を学びます。また、平行して市民向けセミナーの企画・運営を証券会社と協同で行っています。

4年次は主に卒業論文の作成です。テキストを輪読と平行して論文作成指導を行います。

ゼミ生のひとこと



証券論は株式・債券・投資信託の基礎が学べる上、卒業生（阿部ゼミ卒）の話が聞けたり発展的な内容も学習できたりするので、阿部ゼミ入門者にとってはおススメの講義です。企業財務論に関しては、ゼミ生の私でさえ難しいと感じる講義なので、それなりの覚悟をもって真剣に取り組むことをおススメします。阿部先生に関しては、分け隔てなく誰に対しても平等に接してくれるという印象があります。

阿部ゼミ 12期生